

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	田幸 学 関野 勝仁
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3252
<b>事務事業名</b>	4131 温暖化防止推進事業											
<b>所 属</b>	140100 環境部・生活環境課											
<b>施 策</b>	03011100 環境を守る活動の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	<b>事業</b>	070000 温暖化防止推進事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
地球温暖化防止のため、第二次須坂市環境基本計画及び須坂市地域新エネルギービジョンの施策を推進することにより、須坂市全体の二酸化炭素排出量の削減を目指す。						第二次須坂市環境基本計画の具体的施策である環境行動計画に掲げる事業を積極的に推進するとともに、新エネルギービジョンの重点プログラムの導入普及とモデル事業の推進により、二酸化炭素排出量の削減を行う。						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>平成22年度 実績</b>	<b>平成23年度 実績</b>
ペレットストーブ補助1件、太陽光発電補助99件、ナノ水車ユニット技術開発事業、長野県GND基金事業、学校太陽光発電事業、公共施設屋根貸し事業公募、自然エネセミナー開催、エコドライブ講習会	ペレットストーブ補助0件、太陽光発電補助150件、ナノ水車ユニット技術開発事業、長野県GND基金事業、学校太陽光発電事業、公共施設屋根貸し事業公募、自然エネセミナー開催、エコドライブ講習会
<b>平成24年度 実績</b>	<b>平成25年度 実績</b>
ペレットストーブ補助2件、太陽光発電補助181件、ナノ水車ユニット技術開発事業、長野県GND基金事業、学校太陽光発電事業、公共施設屋根貸し事業公募、自然エネセミナー開催、1村1エネルギー登録、エコドライブ講習会	ペレットストーブ補助3件、太陽光発電補助169件、ナノ水車ユニット技術開発事業、長野県GND基金事業、学校太陽光発電事業、公共施設屋根貸し事業公募、1村1エネルギー登録、エコドライブ講習会
<b>平成26年度 実績</b>	<b>平成27年度 予定</b>
ペレットストーブ補助0件、太陽光発電補助140件、ナノ水車ユニット技術開発事業、長野県GND基金事業、学校太陽光発電事業、公共施設屋根貸し事業公募、1村1エネルギー登録、エコドライブ講習会、長野県GND基金事業、小水力発電サミット協力	ペレットストーブ補助2件、太陽光発電補助82件、太陽熱利用補助30件、ナノ水車ユニット技術開発事業、長野県GND基金事業、学校太陽光発電事業、1村1エネルギー登録、エコドライブ講習会

指標名	二酸化炭素(CO2)削減率				
算式					単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				-12.5
	実績				
指標選定の理由	地球温暖化防止を推進するため。				
最終年度目標の根拠	第5次須坂総合計画 前期基本計画 平成21年度二酸化炭素排出量の-12.5%				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		16,892	5,556
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	4,439	0
	地方債	0	0
	その他	0	13
一般財源		12,453	5,543
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.4	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,429.0	3,429.0
	嘱託職員	1,090.0	1,907.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,519.0	5,336.5
市民一人当たりの経費		0.4	0.2
総額		21,411.0	10,892.5

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	127	消耗品費77、修繕料50
13節 委託費	639	小水力発電設備通常管理120、電力供給システム設置点検業務519
15節 工事請負費	9,568	電力供給システム工事1,131、集水管等埋設工事7,056、非常用蓄電池等設置工事1,381
19節 負担金補助及び交付金	6,526	新エネルギー活用施設設置費補助金6,391、全穀小水力発電サミットin長野開催負担金100、その他35
その他	32	旅費32

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	180	消耗品費80、修繕料100
13節 委託費	120	小水力発電設備通常管理委託料120
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5,210	新エネルギー活用施設設置費補助金5,000、ペレットストーブ等設置導入費補助金200、その他10
その他	46	旅費33、積立金13

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	地球の温暖化を防止することは、市民の生命、財産を守るため必要不可欠である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	太陽光発電設備の設置補助、ペレットストーブの設置補助、小水力発電設備の設置、活動団体への支援等により二酸化炭素排出量削減のための取り組みとして実施している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	コスト削減、受益者負担等の余地はない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成25年度から26年度の2年度間において、長野県GND基金事業を活用し、「米子 環境・自然エネルギー防災パークモデル事業」を実施する。一部工事において、平成27年度に繰越し実施する。  
新たな補助制度の実施について、検討する必要がある。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>環境基本計画見直しと、新エネビジョンに基づく事業を積極的に推進していく。二酸化炭素排出量削減のため家庭でできる身近な取り組みや、新たな補助制度を検討する。</p>		<p>環境政策の終局的目標である事業と認識している。後期基本計画、環境基本計画(後期)に改めて位置づけ、更なる推進を図りたい。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	